

来たれ、青年部へ！

入会資格：当所会員事業所の経営者又はその後継者等で年齢満25歳以上45歳以下の方
 会 員 数：111名（令和7年4月1日現在）
 年 会 費：24,000円

平成3年に創設された青年部は、様々な事業を通じて地域活性化の一助を担っています。45歳以下という同世代の経営者と活動を共にすることで、ともに悩みを分かち合い解決策を導き出すことができ、公私にわたる「友」をつくることも出来ます。

加古川楽市



毎年、多くの来場者で賑わう当所主催の商工祭で、青年部が主管として企画・運営を担っています。会員事業所や市内の飲食店の出店ブース、地元の方や市内の中高生のステージなど多彩な催しがあるビッグイベントです。会員事業所と地元商業者、来場者に企業間・世代間の交流ができるふれあいの場を提供し、そこから日常の商売につなげ、地域活性化の原動力の一助になることを目的としています。今年のご案内をお楽しみに！

多彩な例会

原則月1回実施されメンバーが一堂に会する例会は、各回ごとに担当委員会が趣向を凝らした内容を企画しています。経営に関するものから青年部活動を支える家族や従業員がともに楽しめる「家族例会」まで、参加したくなる内容のものばかりです。

昨年の家族例会は、巨大流しそうめん装置作りや自分で収穫した食材をトッピングしたピザ作りを行いました。日々の感謝を伝え、加古川の魅力に触れる活動を通して、さらに強い信頼関係を築くことができました。



青年部会員の方にお話を伺いました

メガネのやまもと 高原 佳祐さん（2014年入会）



青年部活動では、成功も失敗も経験することができ、うまくいったことをこつこつと社業に取り入れています。100を超える企業の社長が参加し、入会と卒業制度によって毎年10～20名が入れ代わるため、必ず新しい出会いがあります。そんな方々と活動を通じて信頼関係を築くことができます。本業ではありませんが、最近では青年部事業のPRソング「加古川のうた」も作成してCDも作っていただき、有志の後押しもありカコフェスに出場させていただきました。情熱で人とお金が動くことを実感しています。前向きに取り組めば自分を伸ばしてくれる人やコトに出会えると思います。ぜひ青年部を活用して夢に挑んでほしいです。

Lily Plus+ 山田 ゆかさん（2024年入会）



1人で開業して間もないころ、経営者同士の人脈づくりや自己研鑽のために入会しました。当初は男性が多い印象に圧倒されましたが、男女問わず気軽に接してもらえたことでとても楽しく活動ができるようになりました。商工振興を通して加古川をもっと盛り上げていこうという熱いメンバーばかりですので、良い刺激をもらえ、社業の発展への意欲が上がります。青年部には多種多様なメンバーが多く所属しているため、あらゆる分野のプロに相談することができ心強いです。同じ若手経営者として共に切磋琢磨できること間違いありませんので、ぜひ1人でも多くの仲間が増えることを期待しています。

ご紹介したものは活動のごく一部。その他にも様々な活動を行っています。
 興味のある方は、青年部事務局までお問い合わせください。（TEL079-424-3355）

会員サトNOW

会員の皆さん、おめでとうございます！

令和7年 春の叙勲 受章

【旭日双光章・中小企業振興功労】

多木 隆元 様（多木化学㈱ 代表取締役会長）

【瑞宝双光章・社会福祉功労】

瀧 淑郎 様（社会福祉法人福竹会 特別養護老人ホーム鹿児の郷 理事長）

団体だより 青年部

新体制が始動

―第34回通常総会を開催―

4月21日、加古川商工会議所青年部第34回通常総会を厳粛な雰囲気の中、開催いたしました。前年度の事業報告および決算報告が承認され、新たな一年に向けた体制が整いました。また、今年度の各委員の委嘱も正式に承認され、加古川の未来を担うべく、気持ち新たにスタートを切りました。青年経済人たちが真剣に向き合い、地域経済を牽引する自覚と責任を胸に、これからの活動への力強い第一歩となりました。今年度も「自己研鑽」「地域貢献」「次代への挑戦」を信念に、仲間たちと共に学び合い、高め合い加古川のさらなる発展に貢献すべく、歩みを進めてまいります。

総務広報委員長 窪田 健二



今年度も気合十分に



挨拶する松下会長

女性会

桜と音楽で彩る春の日

―お花見交流会を開催―

4月3日、4月度事業「お花見交流会」を「さくら会」を開催いたしました。野口町の教信寺で集合し、まずは集合写真撮影を行いました。閑静な境内を桜が彩り、息をのむほど美しい光景が広がる天台宗のお寺です。当日はソメイヨシノが五分咲きほどで、境内を彩っており、近所の方もお花見に来られ、桜の木の下で宴会を楽しんでおられました。メンバーの中には初めて訪れた方もおり、各個人のカメラで撮影しながら桜を満喫しました。その後、境内にある音楽の館で、長谷川住職によるミニコンサート、コントラバス演奏を聴かせていただきました。演奏前のご住職のお話しでは教信寺の由来、加古川の歴史にも触れることができました。ご住職は世界的なコントラバス奏者でもあり、まずコントラバスの



ソメイヨシノを満喫



コントラバスの音色を堪能

説明をしてくださいました。弦楽器の中でもひととき大きく、低音を奏するということです。迫力のある低音が魅力で、曲の説明も1曲ずつご住職がしてくださり、クラシックから昔ながらの懐かしい童謡まで、途中目を閉じて聴くよう促され、参加者それぞれ心に浮かぶ情景を想像しながら素晴らしいコントラバスとピアノの音色に浸りました。最後に全員でなつかしい曲を歌い、まだまだ聞いていたい余韻とともに音楽の館を出て、手入れが行き届いたお庭のお花を鑑賞しながら教信寺を後にしました。ランチ会場は女性会会員のかき庄。かきランチを楽しむに、参加したメンバーも多く前菜からフライ、殻付き焼き、土手鍋、かきのご飯まで力きづくしをいただきました。花見会やコントラバスの演奏の感想、近況等で盛り上がりしました。

会計理事 近藤 直子